

9月ほけんだより

虹のこころ保育



まだまだ残暑が続きますが、日が落ちるのも随分と早くなってきました。元気いっぱい夏を過ごした子供たち。夏の疲れが出やすくなる時期なので、ゆっくりお風呂に入り、たっぷり睡眠をとるなどして体調を崩さないように気を付けましょう。

9月のほけん行事

尿検査(3歳児以上) 2日 予備日 7日

頭髪検査 6日・21日

身体測定 ひまわり 8日 ゆり、ちゅうりっぷ 9日

すみれ 15日 あじさい、よつば16日

🦠 コロナウイルス感染症に関するお願い 🦠

千葉県でも緊急事態宣言が発令され、コロナウイルスの感染者が八千代市内でも増加しています。PCR検査を受けることが決まった・濃厚接触者と特定された場合は市と連携を図る必要がある為、必ず保育園にご連絡ください。その他、保健所から指示を受けた内容、PCR検査の結果もご連絡お願い致します。

9月9日は救急の日です



日本小児科学会のホームページ(<https://www.jpeds.or.jp/>)に様々な救急時の対応方法についての記載があります。

また、同ホームページ内の Injury Alert(傷害速報)にも様々な傷害の記録があります。命に関わる症例も多く、すべて些細なことがきっかけで起きているものばかりです。日々の生活の中でヒヤっとする場面もあると思いますので、目を通して頂くことで、自宅等での事故防止のきっかけになればと思います。

誤飲が起こった時の対応方法

何らかの異物が誤って気道(空気の通り道)に入り込んでしまった状態です。のどに詰まったものが取り除けないときは、背中を叩いたり胸を圧迫するなどしてとにかく吐き出させます。

- ①反応ある乳児に対して、背中を強く叩く方法(背部叩打法)
・手の付け根で両側の肩甲骨の間を4~5回叩く。



乳児の場合は、股の間から手を入れて胸のあたりを支え頭を下にして背中を叩きます



幼児の場合は、お腹を抱えて下になるように持ち上げ背中を平手で叩きます

- ②反応ある乳児に対して、胸骨を圧迫する方法(胸部突き上げ法)
・背部叩打法で除去できなければ、仰向けにし、胸骨圧迫の要領で4~5回圧迫する。

誤飲は家庭内で起こりやすい事故の一つです。

煙草の吸殻・電池・薬等危険なものは子供の手の届かない場所に保管することが基本です。

知っている役に立つ電話番号



- #8000** 小児救急電話相談
休日、夜間の急な子供のケガや病気について小児科医から緊急度の判断などのアドバイスを受けられます
- 189** 児童相談共通ダイヤル
虐待通報の電話として知られていますが、子育てについての相談にも
- 171** 災害用伝言ダイヤル
災害時に利用できる声の伝言板